

令和4年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案への対応状況

1 基本情報

政策	政策7 誰もが活躍できる社会の実現 政策9 多彩なライフスタイルの提案
政策の柱	7-1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革 9-2 新しい働き方の実践
議論した施策	7-1 (1)産業人材の確保・育成 (2)誰もがいきいきと働ける環境づくり 9-2 (2)自らのライフスタイルに合った働き方を選択できる環境づくり
実施日/班名	9月10日(土) 第3班
担当部局名	経済産業部 就業支援局

2 コーディネーター取りまとめコメント（コーディネーターが議論を総括して取りまとめ）

<p>産業人材の確保・育成と働き方について、課題として大きく3つ挙げられた。</p> <p>一つ目は人材確保^①である。企業と求職者双方のニーズを把握したマッチングに加え、キャリアアップや、やりがいを育める制度設計^②がされる必要がある。</p> <p>二つ目は中小企業への支援^③と働き方である。働きやすい環境づくりへの支援や経営者の意識改革、多様化するライフスタイルに合わせた様々な働き方が可能となるよう、支援^④することが必要である。</p> <p>三つ目は情報発信^⑤である。情報を必要とする人に対し、的確に情報が伝わる必要がある。</p>
--

3 施策の改善提案と対応の方向性

改善提案	対応の方向性
①人材の確保に向け、県内企業が就職先として選ばれるよう、インターンシップなどの仕事を知ってもらう機会の充実が必要である。	<p>現在の取組といたしましては、企業向けインターンシップ導入セミナー、インターンシップマッチング会の開催により、県内外大学に進学した学生等のインターンシップ参加、県内企業のインターンシップ実施の双方を支援してします。御提案のとおり、県内企業が就職先として選ばれるためには、インターンシップが重要であることから、今後とも、県内企業等の意見を聞きながら、これらの取組を継続してまいります。</p> <p>また、インターンシップ参加へつなげるためには、大学生低学年のうちに県内企業への意識付けを行うことが重要であることから、令和4年度から大学生低学年を対象に、学生と若手社員等との交流会、課題解決型の職業体験等により、県内企業や魅力、地元就職のメリット等を知ってもらう取組を進めています。今後は、学生自身による情報発信や学生目線での取組等により、仕事を知ってもらう機会の充実を検討してまいります。</p>

<p>②仕事に対してやりがいを感じられることは、人材の定着のために重要である。企業の中で個人の仕事が評価され、キャリアアップすることができる制度の導入のための支援が必要である。</p>	<p>現在の取組といたしましては、全国的に、また本県においても、平均給与額や管理職比率などに依然として男女格差が見られることから、県内企業の女性活躍行動計画策定等について、アドバイザーを派遣して支援するとともに、女性役職候補者や、経営者・上司向けのセミナーにより、女性自身のキャリア意識の醸成や能力の向上、及び女性の人材育成と役職者への積極的登用を促進し、女性のキャリアアップを支援しています。</p> <p>御提案のとおり、仕事に対してやりがいを感じられること、企業の中で個人の仕事が評価され、キャリアアップできることは、人材の定着のために重要であることから、今後とも、これらの取組を継続し、女性のキャリアアップを支援してまいります。</p> <p>また、国は、「新しい資本主義」の実現に向けて、人材を「資本」と捉え、リスキリング（学び直し）や職業訓練によるスキルアップを支援するとともに、賃上げや職場環境の改善を図っていくこととしており、県といたしましても、これらの動向を踏まえながら、企業在职者や離職者向けの職業訓練の充実に取り組んでまいります。</p>
<p>③多様化するライフスタイルに合わせた様々な働き方が可能な職場環境の整備のため、中小企業に対するアドバイザー派遣などの支援の充実が必要である。</p>	<p>現在の取組といたしましては、多様な働き方の制度導入や、女性活躍行動計画策定等を支援するアドバイザーを派遣しています。</p> <p>御提案のとおり、中小企業における多様な働き方が可能な職場環境の整備のためには、アドバイザー派遣などの支援が必要であることから、今後とも、これらの取組を継続するとともに、県内企業のニーズを踏まえながら、支援の充実について検討してまいります。</p>
<p>④共働き世代や子育て世代、女性等、様々な人が働きやすい、多様で柔軟な職場環境づくりを進めるため、働く人たちが必要としている制度の導入の必要性を経営者に理解してもらえるよう支援する必要がある。</p>	<p>現在の取組といたしましては、働く人たちのニーズに合った多様な働き方の導入を促進するため、その必要性について、経営者の理解を促すためのセミナーを開催しています。</p> <p>御提案のとおり、様々な人が働きやすい、多様で柔軟な職場環境づくりを進めるためには、経営者の理解を促進することが重要であることから、今後とも、これらの取組を継続して経営者の意識改革を図り、テレワークや副業・兼業、短時間正社員など、多様な働き方の制度導入を支援してまいります。</p>
<p>⑤企業情報や静岡で働くことの魅力、あるいは県が既に進めている取組が、県内外の多くの人に伝わるよう、様々なツールやコミュニティを活用することが必要である。また、必要な情報が必要とする相手に的確に届くよう内容を精査し、ターゲットを絞り込んだPRが必要である。</p>	<p>現在の取組といたしましては、高校等卒業生へ配付した「ふじのくにパスポート」の活用や、「30歳になったら静岡県！」をキャッチフレーズとした情報発信を、ホームページ、SNS、メールマガジンなど様々なツールを活用して行うとともに、県内外の大学生や社会人等を対象とした交流会、企業説明会などを開催し、県内企業の情報や、静岡で働くことの魅力の発信に努めています。</p> <p>御提案のとおり、情報発信には様々なツール、コミュニティを活用すること、また、受け手が求めている内容を精査し、ターゲットを絞り込んだPRが必要であることから、今後とも、これらの取組を継続するとともに、より効果的に情報発信を行うため、発信する情報の内容の精査、ターゲットの絞り込みについて検討してまいります。</p>